

新電力大手、日本ロジテック協同組合（東京・中央）が電力小売事業から3月末で撤退すること
が明らかになり、道内の自治体などに影響が広がっている。北海道電力から「電気の送電停止のお知らせ」を受け取った自治体もある。4月からの電力小売りの全面自由化を前に、安全な電力調達先選びの必要性が改めて浮き彫りになっている。

日本ロジテック、電力小売り撤退

道内自治体、広がる影響

電気を送電停止のお知らせについて
の引き立てにあすかり厚くお礼申し上げます。
弊社は、下記送電停止において、日本ロジテックと協約を締結しております。
約、当該契約にもとづき、まことに不承でございました。当該契約にもとづき、まことに不承でございました。当該契約にもとづき、まことに不承でございました。当該契約にもとづき、まことに不承でございました。

買契約は1月下旬に経済産業省が出した指針に抵触するため、新規契約はできなくなっている。4月以降に自由化対象になる家庭向けでも同種の契約はできない。

「送電停止」北電から通知も

買契約は1月下旬に経済産業省が出した指針に抵触するため、新規契約はできなくなっている。4月以降に自由化対象になる家庭向けでも同種の契約はできない。

日本ロジテックと共同購買契約を結ぶ自治体には、北電から「送電停止のお知らせ」が届いた。

日本ロジテックから電力を調達している主な道内の自治体（カッコ内はうち共同購買）

	契約口数	今後の対応
小樽市	47(0)	早期に新たな事業者を入札する。
東川町	3(3)	4月から伊藤忠エネクスに契約先変更
士幌町	4(4)	北電と新規に契約見通し
今金町	12(6)	4月から別の新電力と契約見通し
新冠町	11(2)	4月から別の電力事業者と契約見通し

ただで、事業停止とは思わなかった（士幌町）。自治体の担当者が驚いたのは北電からの通知だった。新冠町には16日付で送電停止の可能性を知らせる通知が届いた。担当者は慌てて北電の担当に問い合わせると「すぐ送電が止まる」といって、とではないと言われた。今金町には「ロジテックとの間にトラブルがある。2月末以降に電気を止め買いつけています。しかし、日本ロジテックは北電へ料金の支払いが滞った」と指摘している。

電から再度連絡があり3月30日まで供給は停止しないと言われたという。トラブルとは電力料金未払い。共同購買契約では日本ロジテックが道内400口の需要を一括、北電から電気をまともに買いつけている。しかし、事業者を確保することが大切

貸
札幌函館
00111281139211
00113812211332448
011566112213117701600